

# 「読むこと」単元板書 & ワークシート

## 2学期物語文編

楽しくできる方法が知りたい

明日の授業が心配

主体的で対話的深い学び

力を付ける国語授業

個別最適って低学年で？

問いをもつ授業？

# 国語科における資質・能力の育成

## 課題

・ 単元目標にどのような指導事項が掲げられていようとも、毎回、登場人物の気持ちを考えたり、形式的な段落分けに終始したり、教師の解釈を探し当てたりするような、**子どもたちの主体的な学習**とはほど遠い、教師の勝手な都合で進められる学習が散見される

# 国語科における資質・能力の育成

## 課題

- 特定の言語活動や学習活動に固定
- 言語活動で読むことの学習を行っているとは錯覚
- ある特定の解釈に到達することが「読めた」という評価
- 教師の勝手な読みの解釈を押しつけられる

# 教材分析シート



# 「読む」～教材研究

## 教材研究シートで教材研究

## 物語文

### 1 児童の初読の感想検討

この話は

児童の感想を予想

### 2 主筋をとらえる

主題をとらえる

する話

### 3 場面をとらえる

場面の数は（ ）場面  
それぞれの場면을短くまとめる（ ）

時・場・人で分けた  
～した〇〇）

【一場面】（ ～した〇〇）

【二場面】（ ～した〇〇）

【三場面】（ ～した〇〇）

【四場面】（ ～した〇〇）

【五場面】（ ～した〇〇）

【六場面】（ ～した〇〇）

場面ごとの内容をとらえる

### 4 基本四場面に分ける

結末

山場

展開

設定

場面ごとの役割をとらえる

### 5 物語の設定を読む

【時】

【場所】

【中心人物】

【重要人物】

物語の設定を読む

### 6 変容を考える

- 何が変わったか（主に中心人物の心情）
- どのように変わったか
- どうして変わったのか

おわり

に変わる

はじめ

だった（ ）が

によって

物語の変容を読む

児童の感想検討

この物語は

主筋を捉える

する話

場面を捉える

( )場面	時・場・人物で分ける
【 1 場面】 (	～した〇〇)
【 2 場面】 (	～した〇〇)
【 3 場面】 (	～した〇〇)
【 4 場面】 (	～した〇〇)
【 5 場面】 (	～した〇〇)

基本4場面に分ける

結末

山場

展開

設定

設定を読む

【時】

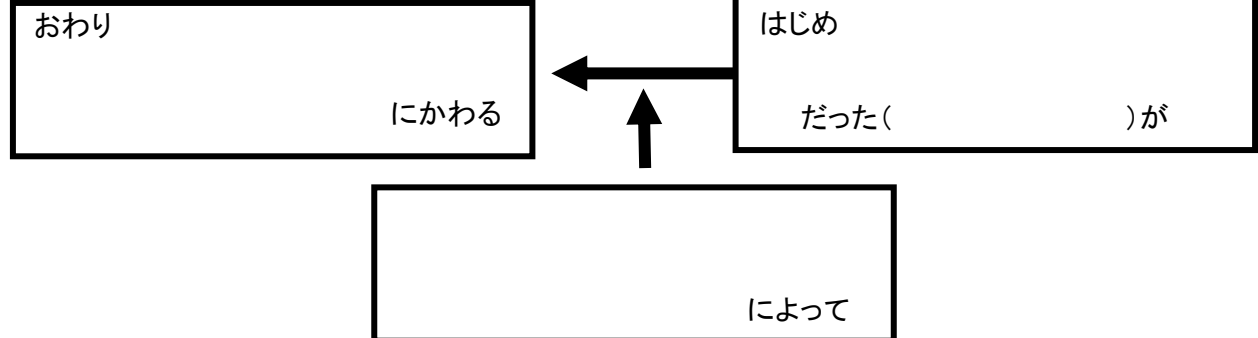
【場所】

【中心人物】

【重要人物】

変容を考える

- ・何が変わったか(主に中心人物の心情)
- ・どのように変わったか
- ・どうして変わったか

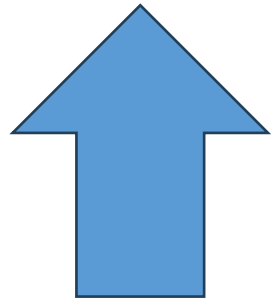


# 課題解決的な言語活動

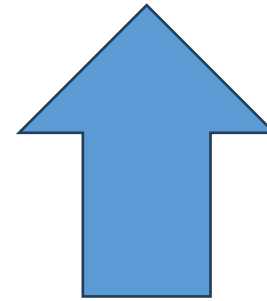


自分・みんなの「？」を考えて、アウトプットする活動  
(自分・誰か・みんなに)

# 課題解決的な言語活動



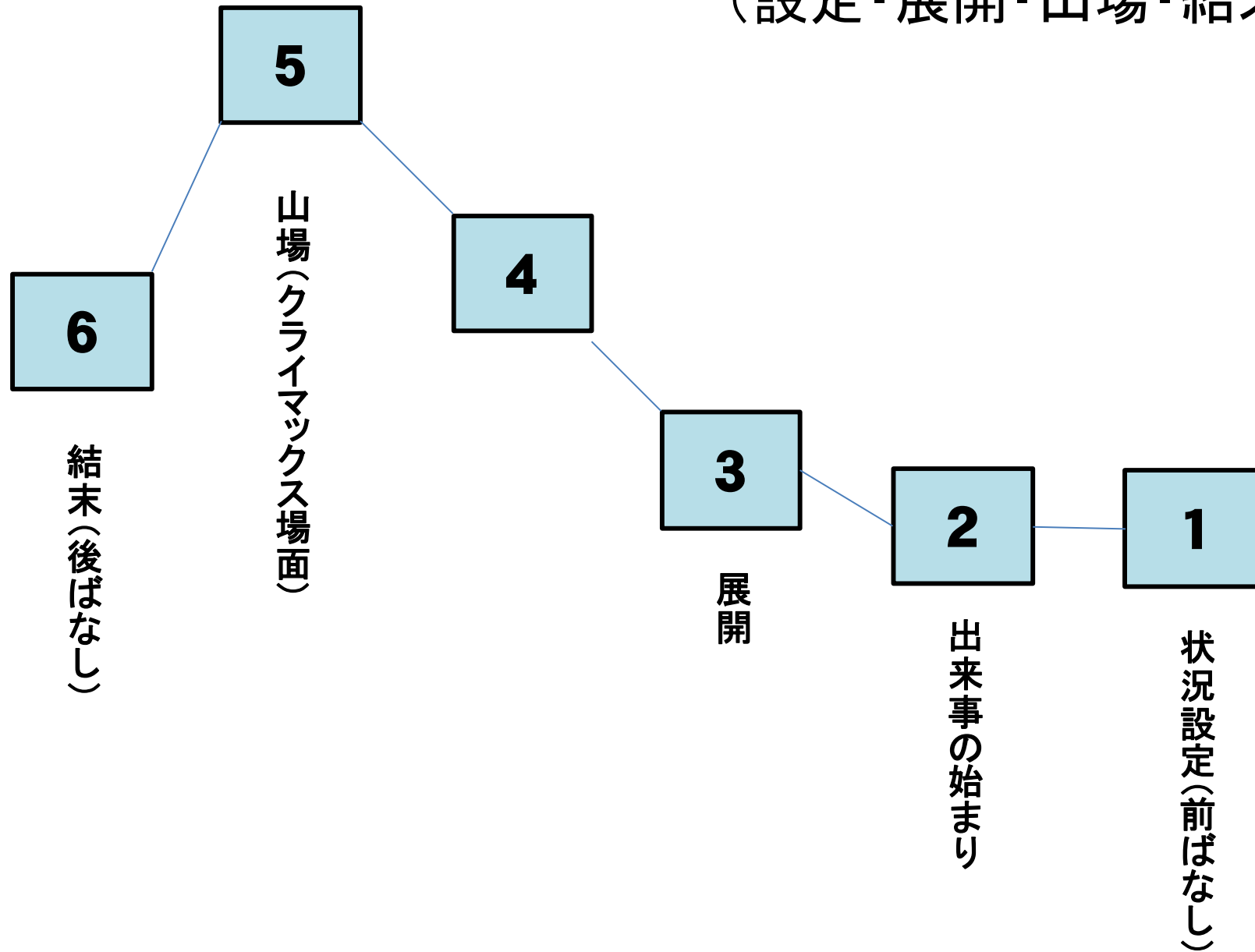
魅力のある「？」



誰か・みんなにアウト  
プットしていか  
ないといけない必要性



# 物語の基本四場面 (設定・展開・山場・結末)



1 場面はいくつ？

三つの観点で分ける → 時・場・人（状況）

2 中心人物は誰？

物語全体を通して気持ちやその変化が一番詳しく書かれている人物

3 中心場面はどこ？

物語全体を通してあることが大きく変わる場面  
「あること」は多くの物語は「中心人物の心」

4 前ばなし・後ばなしをしっかりと読む  
「お話」のおおもとになる「いつ・どこ・だれ」  
が紹介されている

5 山場の場面を読む

- ・ 何が変わったのか
- ・ どのように変わったのか
- ・ どうして変わったのか

6 山場の場面から物語全体をとらえ直す

# 1年 光村 「やくそく」

付けたい力

だれが何を言ったのか何をしたのか読む

やくそく

学習計画表八時間

付けたい力

だれが何を言ったのか  
何をしたのか読む

1

2

3

内容をとらえる

4

だれが何を言ったのか  
読む

5

6

だれがどんなことをし  
たのか読む

7

8

読んで考えたことを伝え  
合う



め

おはなしをよんで、かんそうをいおう

さくしゃ……」かぜさちさん おはなしをかいたひと

ああむしって？

くねくねしている  
はっぱにいる  
ちようになる

やくそくというはなしはどいうおはなしだ  
とおもいますか？

○よんでおもった」と

おもしろかった  
なかよくなつてよかった  
けんかしていたのはよくない  
うみがみれてよかった

○だれができませんでしたか？（じぶんではなすもの）

ああむし いっぴきめ  
ああむし にひきめ  
ああむし さんびきめ  
おおきな木

○じょうずによめるようにれんしゅうしよう

やくそく3

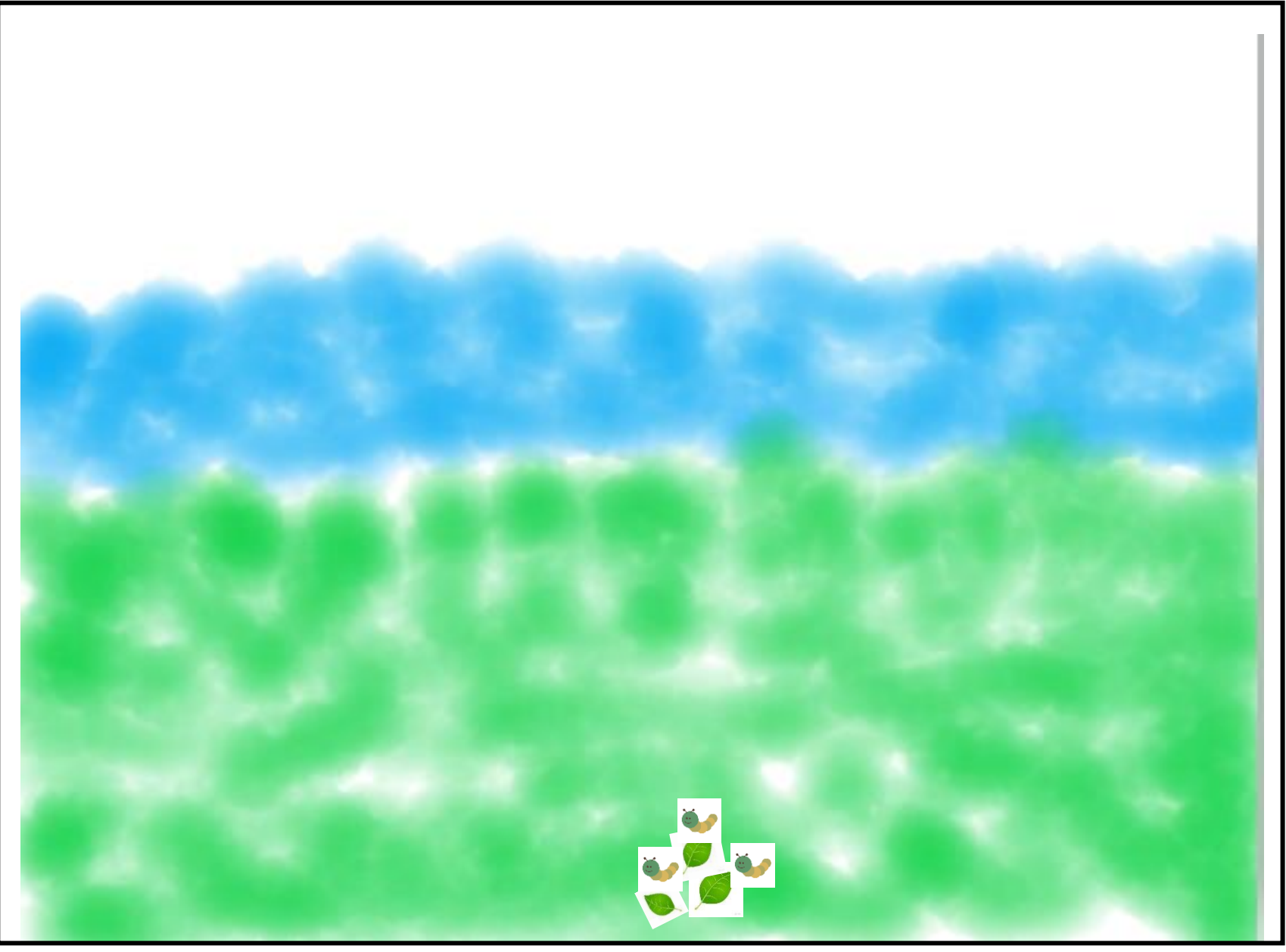
こかげ さち

め

どんなにようかよんでいーう

○えでかくにんしてみよう

あおむしはぐわへらうのおおきわん



○うまいずいめるうにれんしゅうじやう

め

だれがなにをいったのか、よんでいこう

○とうじょうじんぶつ（じぶんではなすもの）

あおむし いっぴきめ  
あおむし にひきめ  
あおむし さんびきめ  
おおきな木

○だれがいったのかよんでいこう

- ① 「だめだめ。この木は、ぼくの木。
- ② 「この木は、わたしの木。
- ③ 「そんなこと、しるものか。」

木 「うるさいぞ。」  
木 「みんな、もつとうえまでのぼって、そとのせかいをみてくらん。」

- ① 「ぼくら、こんなにひろいところにいたんだね。」
- ② 「そらも、こんなにひろいんだね。」
- ③ 「あのひかっているところは、なんだろう。」

- ① 「きれいだね。からだがかようにかわったら、あそこまでとんでみたいな。」
- ② 「わたしも、あそこまでとんでみたい。」
- ③ 「それなら、みんなでいこう。」

じいじ

○じょうずによめるようにれんしゅうしよう



め

だれがなにをしたのか、よんでいこう

○とうじょうじんぶつ（じぶんではなすもの）

あおむし いっぴきめ

あおむし にひきめ

あおむし さんびきめ

おおきな木

○だれがどういうふうにしたのかよんでいこう

① まいにち木のはをたべてまっています

② むしやむしやむしや

③ もりもりもり

木ぐらりとゆれて

①

めをまるくしました

③

①

せのびをしました

③

①

くんねりくんねりおりていきました

③

木さらさらそよいでいます

○じょうずによめるようにれんしゅうしよう

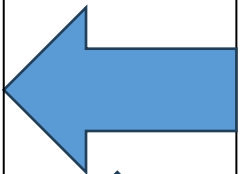
やくそく 8

「かぜ さち

め

やくそくについてかんがえたことをはっぴようしよう

さんびきのあおむしが



(そとのせかい) をみて



なかよくなるおはなし

かんがえたこと

わたしは(〇〇が) 〇〇とおもいました。  
それは、〇〇だからです。

# 1 年 光村 「くじらぐも」

付けたい力

どこで何をして何を言ったのか読む

# くじらぐも

学習計画表八時間

付けたい力

どこで何をして何を  
言ったのか読む

1

2

3

4

5

6

8・7

初発の感想・学習課題

内容をとらえる

挿絵を手掛かりに想像  
を広げる

「」の部分の読み方  
を話し合う



読んで想像したことを伝  
え合う

くじらぐも1

なかがわ リえこ

め

おはなしをよんで、かんそうをいおう

○いろいろなかたちのくもをみたことがありますか？

さかなのかたち

とりのかたち

かいじゅうのかたち

「くじらぐも」ってどんなかたち？

○よんでおもったこと

おもしろかった

くじらぐもがはなすのがおもしろかった

みんながくもにのったところがすごかった

○「どうが」でみてみましょう

みんなのかだい

「くじらぐも」と「子どもたち」がどんなことをしたのかよみとりましょう

○かんじとカタカナのれんしゅう

男 天  
女 青

手

センチ

ジャングルジム

め

おはなしをよんで、いいなとおもったところを  
おはなししよう

○いいなとおもったところをみつけてみよう

すごい

おもしろかった

たのしそう

じぶんもやってみたい

○3○（さんまる）スピーチいってみよう

1 わたしは○○○のところがいいなとおもいました。  
2 りゆうは○○したとき○○とおもったからです。  
3 だから○○のところがいいなとおもいました。

○「できにいったところをみつけよう

「一、二、三、四。」くじらも、たいそうをはじめました。

「ここへおいでよう。」くじらもさそいました。

「もっとたかく。もっとたかく。」と、くじらがおうえんしました

「天までとどけ、一、二、三。」

○かんじとカタカナのれんしゅう（二かいめ）

男 天

女 青 手

センチ

ジャングルジム

め  
おはなしのないようをかくにんしよう

おはなしを三つにわけてみましょう

おわり	なか	はじめ
四じかんめがおわりのチャイム		四じかんめ
くじらは （　　） がっこうの （　　） みんなをおろしてかえっていきま した。	みんなは、手をつないで、 まるいわになって 「 とジャンプしました。 手をつないだまま（　　）の くじらは、青い青い空のなかを （　　） すすんでいきました。	「ねん二くみの子どもたち たいそうをしていたら 空に大きな （　　）があらわれました。

## め

おはなしをよんで、くじらぐもと子どもたちのよ  
うすをかんがえましょう。

くじらぐもがなにをしたかみつけよう（えもみながら）

子ども

くじらぐも

はじめ		なか	おわり
●一ねん二くみの 子どもたちがたい そうをしていた。	●うんどうじよう をまわった	●「天までとどけ、 一、二、三。」	●「さようなら。」 みんなで手をふる
●ふえのあいずで とまった	●まわれみぎ	●「天までとどけ、 一、二、三。」	●「さようなら。」 みんなで手をふる
●「ここへおいで よう。」	○空でまわれみぎ	●「天までとどけ、 一、二、三。」	○「さようなら。」 みんなで手をふる
○くじらもとまった	○「ここへおいで よう。」	●「天までとどけ、 一、二、三。」	○「さようなら。」 みんなで手をふる
○空をまわった	○「ここへおいで よう。」	●「天までとどけ、 一、二、三。」	○「さようなら。」 みんなで手をふる
○いっしょにたいそ うをした	○「ここへおいで よう。」	●「天までとどけ、 一、二、三。」	○「さようなら。」 みんなで手をふる
○まわれみぎ	○「ここへおいで よう。」	●「天までとどけ、 一、二、三。」	○「さようなら。」 みんなで手をふる
○ジャングルジムに おろす	○「ここへおいで よう。」	●「天までとどけ、 一、二、三。」	○「さようなら。」 みんなで手をふる
青い空にかえる	○「ここへおいで よう。」	●「天までとどけ、 一、二、三。」	○「さようなら。」 みんなで手をふる



め

おはなしをよんで、「」のよみかたをかんがえましよう。

○なかのぶんをみんなでもう

じのぶんやく

子どもやく

くじらやく

みんなは、手をつないで、まるいわになると、  
「天までとどけ、一、二、三。」  
とジャンプしました。でも、とんだのはやっと  
三十センチぐらいです。

「もっとたかく。もっとたかく。」

と、くじらがおうえんしました。

「天までとどけ、一、二、三。」

こんどは、五十センチぐらいとべました。

「もっとたかく。もっとたかく。」

と、くじらがおうえんしました。

「天までとどけ、一、二、三。」

○さくせんタイム

もっとじょうずによむには、どうすればいいかな

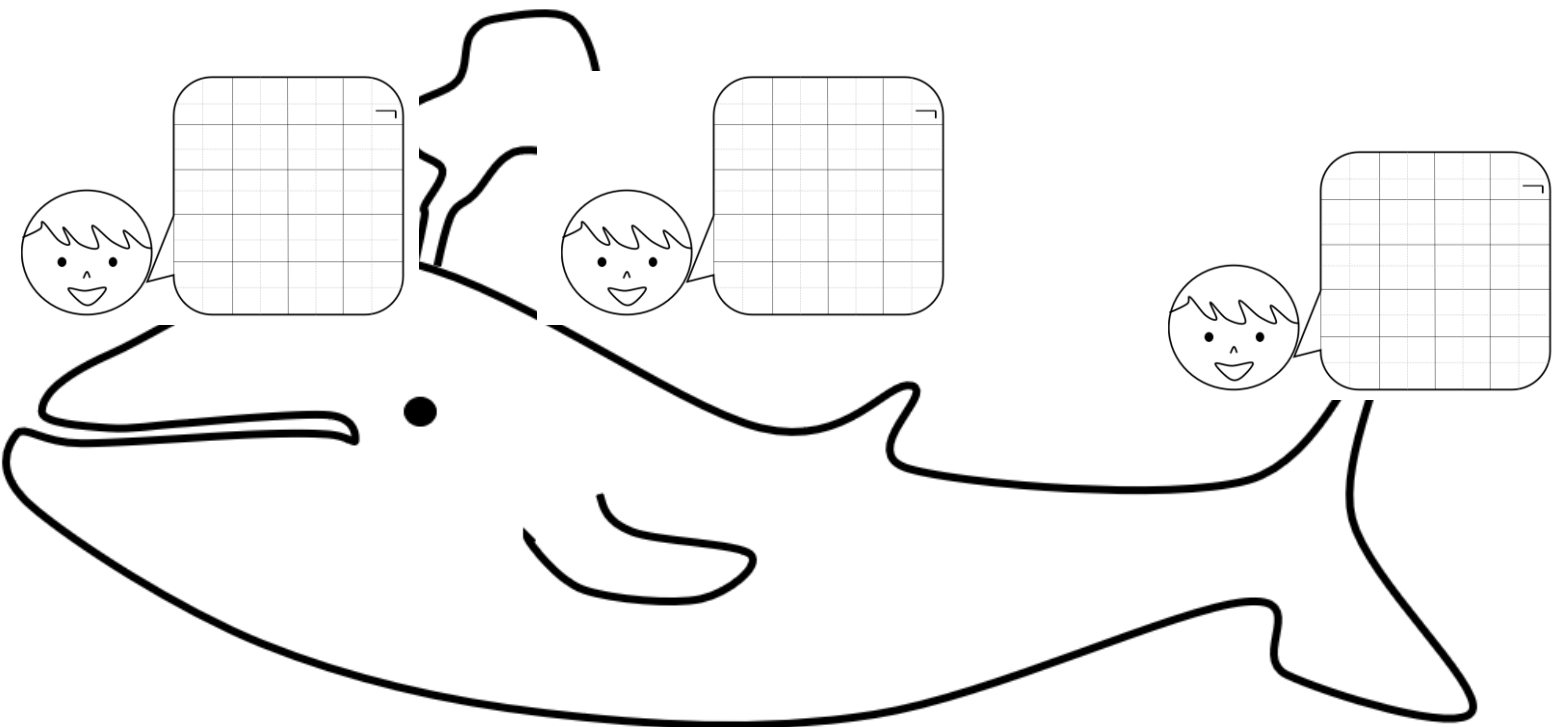
○おうえんしましたとかいてあるから、おうえん  
するよう

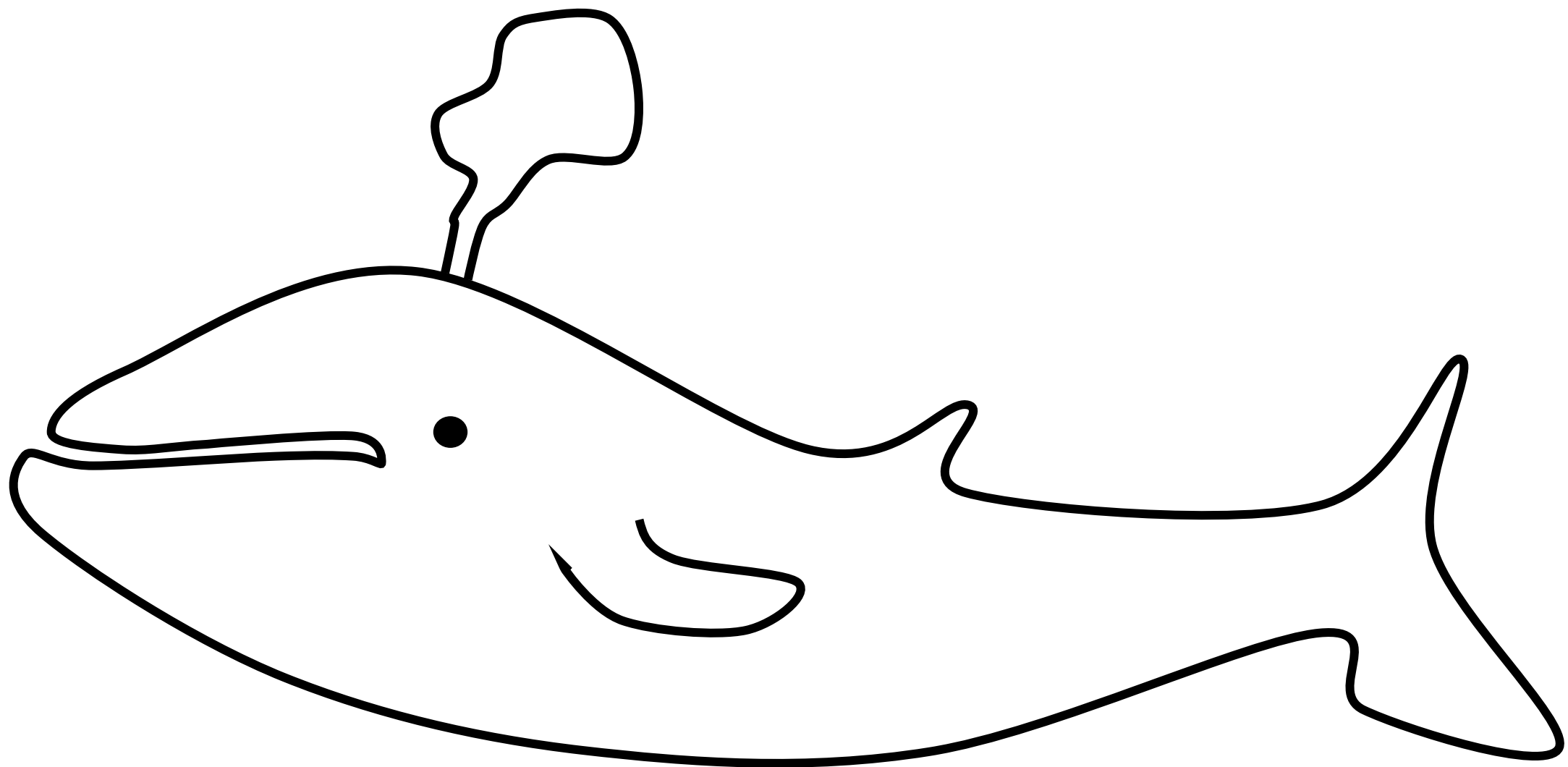
○二かいめは、五十センチぐらいとべているから、  
もっと大きなこえでいう

○三かいめは、いちばん大きなこえでいう

め

じぶんをくじらぐもにのせてみよう。





[illegible]

## 2年 光村 「お手紙」

付けたい力

登場人物と自分とくらべて読む

人物がしたことを表す言葉から様子を思い  
うかべる

# お手紙

学習計画表十二時間

付けたい力

登場人物と自分とくらべて読む

1 2 1 1 ・ 1 0 ・ 9 8 7 6 5 4 3 2 1

初発の感想・学習課題

場面の整理

第一場面

第二場面

第三場面

第四場面

第五場面

始めと終わりの2人の  
気持ちを比べる



る  
ペープサートげきをつく

# 「〇〇読み」とは

「〇〇」のところに、自分が考えたタイトルを付けて読む。



「だれも、ぼくに お手紙なんか  
くれたことがないんだ。毎日、  
ぼくのゆうびんうけは、空っぽさ。  
お手紙を まっているときが  
かなしいのは、そのためのさ。」

かなしい

読み

そのわけ

(〇〇に〇〇と書いてあるからです)

だれも、ぼくにお手紙なんか  
くれたことがないと書いてあるから

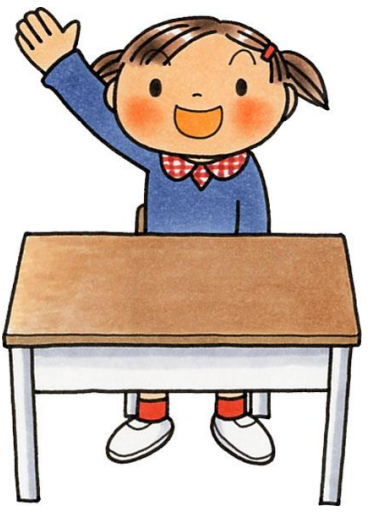


はっぴょうのかたち

わたし（ぼく）は〇〇読みにしました。

理由は、〇ページの〇〇に  
〇〇と書いてあるからです。  
そこから〇〇の〇〇きもち  
が分かるからです。

読みます。



## お手紙 1

め

お話を読んで、かんそうをいおう

どっちががまくんで  
どっちがかえるくん  
でしょう？

かんそう



がまくんは  
何がかなし  
いの？

かえるく  
んは何が  
かなしい  
の？

かえるくん  
はどうして  
やさしい  
の？

内容を言っ  
てよかった  
の？

がまくんは  
何がうれし  
かったの？

4日待って  
よかった  
の？

いいおはなし	13
かえるくんってやさしいとおもいました。	10
がまくんお手紙を書いてもらってとてもよかったね。	6
かたつむりお手紙をわたすの4日かんかったんだ。	5
お手紙を一回ももらってないから4日もげんかんでまってすごい	4
がまくんおもしろい	3
がまくんがお手紙を1回ももらってないところがかわいそうだったです。	3
ガマガエルくんは、お手紙がほしかったんだね	2
お手紙の文しょうをゆってよかったのかなあ？	
がまくんは、お手紙をもらったことないから、かえるくんは、いそぎでかいたんだね	

ペープサートげきをしてみよう

「〇〇読み」とは

「〇〇」のところに、自分  
が考えたタイトルを付  
けて読む。



## お手紙2

め

お話を場面ごとに分けて見よう

とうじょう人物はだれ？

がまくん

かえるくん

かたつむりくん

「〇〇した〇〇くん」でまとめていこう

## 五場面

① げんかんの前でお手紙をまつけどこなくて  
かなしいがまくん

② 家にかえって、がまがえるくんに手紙を書く  
かえるくん

③ がまくんの家に行って、がまくんをおこそ  
うとするかえるくん

④ かえるくんからお手紙のことをきいて、か  
んどうするがまくん

⑤ 四日たって、かたつむりくんからお手紙を  
もらってよろこぶがまくん

め

だい一場面を読みとろう

○いつ あさ? おひる?

○どこ がまくのいえのげんかん

○だれ がまくんとかえるくん

○どこを読みたい?

「だれも、ぼくに お手紙なんか くれた  
ことがないんだ。毎日、ぼくのゆうびんう  
けは、空っぽさ。お手紙を まっている  
きが かなしいのは、そのためなのさ。」

○○読みをしよう



だれもお手紙なんかくれ  
なくてすごくかなしい

読み

どうして? (○○に○○と書いてあるからです)

だれも、ぼくにお手紙なんかくれたことが  
ないとかいてあるから

○かえるくんのきもち

かなしいきもち

どうして?

「ふたりともかなしい気分でこしをおろして  
いました。」と書いてある

○がまくん・かえるくん日記を書こう

め

だい二場面を読みとろう

○いつ がまくとこしをおろしていたとき

○どこ かえるくんのいえ

○だれ かえるくん

○かえるくんのしたこと

だいそぎで家へ帰った

えんぴつと紙を見つけた

紙に何か書いた

紙をふうとうに入れた

ふうとうに「がまがえるくんへ」と書いた

「おねがいだけど、この手紙をがま  
くんの家へ もって行って、ゆうび  
んうけに入れてくれないかい。」

○○読みをしよう



はやくがまくんへ手紙をとどけて

読み

どうして? (○○に○○と書いてあるからです)

「だいそぎで」「家からとび出した」  
と書いてあるから

○「すぐやるぜ」も○○読みをしてしよう

じしんたっぷり・ぼくにまかせて 読み

○がまくん・かえるくん日記を書こう

め

だい三場面を読みとろう

○いつ お昼（お昼ねをしている）

○どこ がまくんの家

○だれ がまくん

かえるくん

○同じことば「がまくん」

「がまくん。」

お手紙くるかもね読み

「いやだよ。」

「ぼく、もうまっているの、あきあきしたよ。」

あきあき読み

「がまくん。」

お手紙くるよ読み

「そんなこと、あるものかい。」

「ぼくにお手紙をくれる人なんているとは思えないよ。」

だれもくれない読み

「でもね、がまくん。」

おしえたいな読み

「ばからしいこと言うなよ。」

「今まで、だれも、お手紙くれなかったんだぜ。きょうだって同じだろうよ。」

ばからしい読み

「がまくん。」をどういうふうに読みますか。

がまくんのきもちはどういうふうに読みますか。

○がまくん・かえるくん日記を書こう

め

だい四場面のがまくんとかえるくんのきもちを読もう

○いつ

昼すぎ

○どこ

がまくんの家

○だれ

がまくん・かえるくん

ペープサートでやってみよう

どのことばをくふうして読みたい？

「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」

○○読みをしよう

とってもうれしい

手紙をもらってうれしい  
今までで一番うれしい

読み

どうして？（○○に○○と書いてあるからです）

手紙をもらったことがないから  
かなしい時間とっていたから

先生が考えた手紙でもいいかな？

がまくん  
こんにちは。  
げんきですか。  
ぼくは元気です。  
またあそぼうね。  
かえる

かえるくんのお手紙

「親愛なるがまくん。ぼくは、きみが  
ぼくの親友であることを、うれしく思っています。  
きみの親友、かえる。」

親友ということばがうれしい

○がまくん・かえるくん日記を書こう

め

だい五場面のがまくんとかえるくんのきもちを読もう

○いつ

四日たって

○どこ

がまくんの家

○だれ

がまくん・かえるくん

四日たって、かたつむりくんが、がまくんの家につきました。

どうして？

かたつむりはゆっくりあるくから

「すぐやるぜ。」

かえるくんはどうしておこらなかつたのかな？

がまくんがとてもよろこんでいたから

とりとか、うさぎとかだったらはやくついたかも。  
四日もまつのはいやだったんじゃない？

ふたりとも、とてもしあわせな気もちで、そこに  
すわっていました。と書いてある。

がまくんとかえるくんは、まっているあいだもしあ  
わせだった。

○がまくん・かえるくん日記を書こう



め

がまくんとかえるくんのきもちを考えよう

がまくんは  
何がかなし  
いの？

一場面

がまくん

かえる  
くん

かえるくん  
は何がかな  
しいの？

おどろき

かなしい

二場面

かなしい

なんとか  
したい

かえるくんは  
どうしてやさ  
しいの？

三場面

すねてし  
まった

よろこば  
せたい

四場面

うれしい

うれしい

内容を言って  
よかったの？

五場面

何がうれし  
かったの？

しあわせ

4日待ってよ  
かったの？

め

ペープサートげきをつくっていきなり

ペープサートげきを試してみよう

どの場面をしますか



どいつへぶっつけますか



# 3年 光村

## 「ちいちゃんのかげおくり」

- ・ 文の特徴

3人称限定視点 中心人物の心情の変化  
同じ様子があり、比較できる  
最後、時が大きく変わる

### 付けたい力

場面をくらべながら読み、感じたことをまとめよう

動作を表す言葉・様子を表す言葉  
場面の様子や出来事をくらべて読む

## 気持ちの書き方

中心人物の気持ちを直接書いている言葉は少ない

→気持ちはどうだったのか

→言葉「おうちのところ。」から分かる気持ち

## 場面（言葉）の対比

かけ送りをする場面が第1場面と第4場面にある→何が違うのか

・ほしいいを少し食べました（2回）

・うなずきました（2回）

→何が違うのか

## 第4場面の書き方

→ふってくる

→「お母ちゃん」のよび方

→空色の花ばたけの話

→ちいちゃん自身の言葉が多い

→亡くなったのはどこか

## 時間の変化

第5場面に何十年後の世界を描いている

→なぜ後話を入れたのか

→かけおくりをした場所が公園

→「きらきら」の言葉

# ちいちゃんのかげおくり

付けたい力

学習計画表十時間  
登場人物の様子や行動、  
気持ちや性格を面をく  
べながら読む

初発の感想・学習課題

場面の内容を読みとる

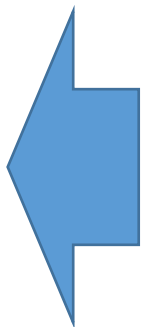
ちいちゃんの気持ちを  
考える

第二場面と三場面のちい  
ちゃんの気持ちを考える

第一場面と第四場面を  
くらべる

ちいちゃんの思いを考え  
る

第五場面の効果について  
考える



10・9

8

7

6

5

4

3

2

1

ちいちゃんリーフレット  
を作る

ちいちゃんのかげおくり 1 あまんきみこ

め

全文を読み学習の見通しを持とう


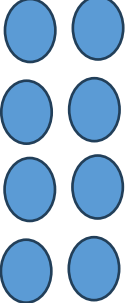

題名から・・・かげおくりって何？

○はじめの感想

感想

かなしい・・・さいご死んでしまった  
かわいそう・・・ひとりぼっちになって  
せんそうはいやだ・・・ばくだんなどでい  
ろんなものをうばう

どこがいちばんかなしいの？

一	「かげおくり」って	
二	夏のはじめのある夜	
三	朝になりました	
四	明るい光が顔に当たって	
五	それから何十年、	

「ちいちゃんのかげおくり」はどうしてかなしいのか読み取っていきましょう

○新出漢字と難語句

先祖 記念写真 しょういだん  
くうしゅうけいほう はす向かい  
ざつのう ほしいい ぼうくうじゅう

め

場面の内容を読みとろう

中心人物はだれ？

ちいちゃん

「〇〇したちいちゃん」でまとめていこう

五場面

① 出征する前の日、家族みんなでかげおくりをするちいちゃん

② 夏のはじめのある夜、くうしゅうでお兄ちゃんとお母ちゃんとはぐれて、ひとりぼっちになったちいちゃん

③ 朝、やけ落ちた家にもどって、ぼうくうごうで、二日お母ちゃんとお兄ちゃんをまつたちいちゃん

④ 明るい光が顔に当たって、お父さんたちとかげおくりをして、わらいながら死んでいったちいちゃん

⑤ 何十年たって、かげおくりをした場所で、きらきらわらい声を上げて遊んでいる子どもたち

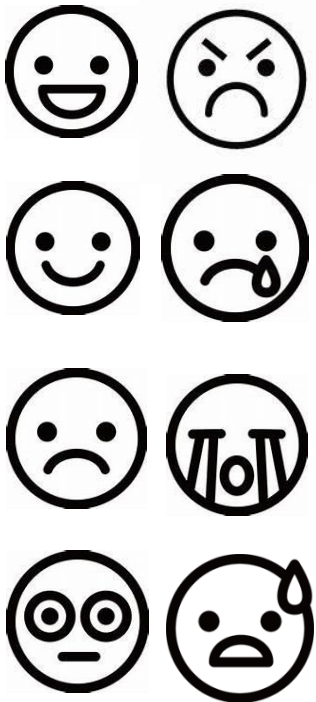
ちいちゃんのかげおくり3


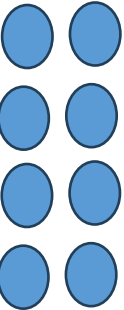
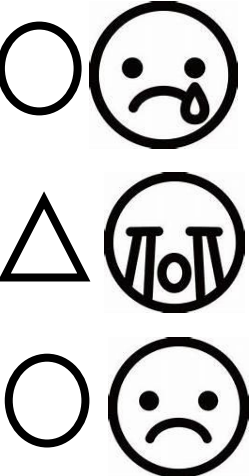

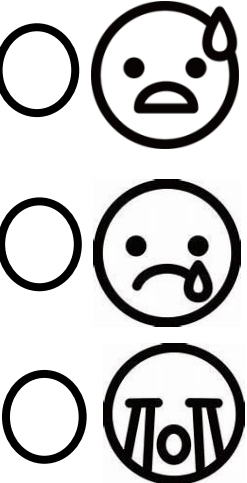

あまんきみこ

め

ちいちゃんの気持ちを考えよう。

ちいちゃんの気持ちを顔で表そう。



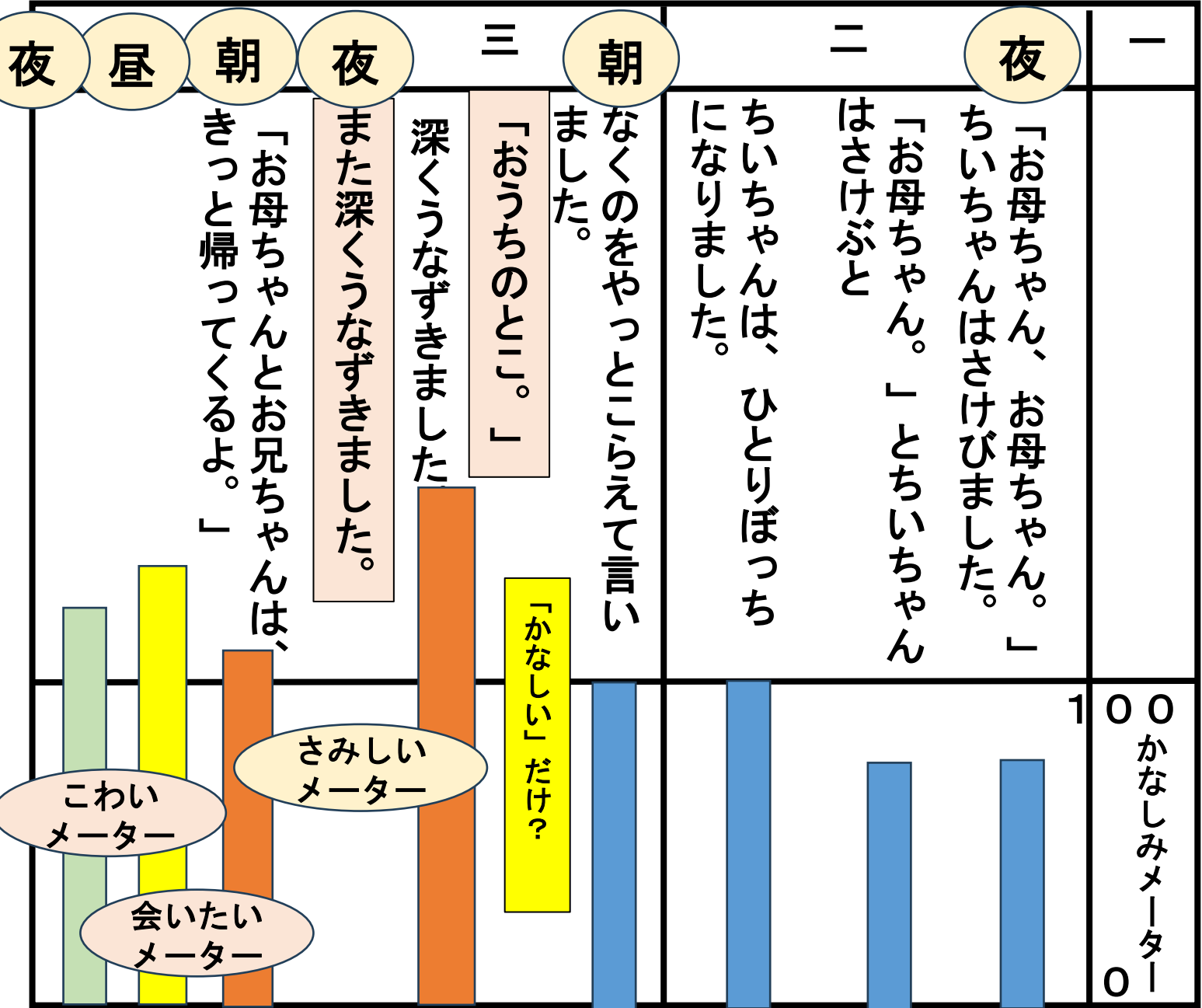
五	四	三	二	一
—	<div><p>きらきらわらって</p><p>読んでいて 一番悲しい場面に付けた人</p><p>どうして悲しいの？</p></div>	<div><p>どっちもわらっている…同じ？</p><p>なくのをやっと「うええ」と言いました。 深くうなずきました。 また深くうなずきました。 「きつと帰ってくるよ。」</p></div>	<div><p>「お母ちゃん。」さけびました。 ちいちゃんは、ひとりぼっちになりました。</p></div>	<div><p>「すいすい。」</p></div>



め

ちいちゃんのお気持ちを読みとろう

ちいちゃんのお気持ちが分かる言葉をさがそう



おはちゃんといっしょにいた方がよかったんじゃないの？

それがいい

よくない↓どうして？

お母さんたちが帰ってくると思ったから

どの言葉で分  
かりますか？

深くうなずく

2日目↓少しかじる・・・全部食べない

ま

ちいちゃんは、かなしく、さみしかったけど  
お母さんたちが必ず帰るとしんでいた。

ちいちゃんのかげおくり5 あまんきみ

め

第一場面と第四場面をくらべよう。

第四場面はどうして悲しいの？

一



家族といっしょ

白い四つのかげぼうしが、すうっと  
空に上がる  
「すごい。」

どっちもわらっている…同じ？

悲しいし「う」を見つけよう

だれもない

声が青い空からふってきた。  
お父さん、お母さん、お兄ちゃんは亡くなっている？

ふらふらする足をふみしめる ↓よわっている

たった一つのかげぼうしを見つめる  
くつきりと白いかがが四つ

「お父ちゃん。」 ↓やっと会えた



体がすうっとすきとおって空に  
すいこまれていく

空色の花畑の中 ↓空（天国？）へ

だから悲しい

四

本当はぼうくう「う」の前でたおれて亡くなる

め

ちいちゃんの思いを考えよう。

お父さんと、お母さんとお兄ちゃんは物語のどのあたりで亡くなっていると思う？

「体の弱いお父さんまで」

いくさがはげしくなつて、町の空にばくだんをつんだひこうきが、とんでくるようになりました。いくさで負けているからとんできた。

お父さん

「川の方ににげるんだ。」

あとでお母さん、お兄ちゃんは橋の下にいなかった。

二

お母さん  
お兄ちゃん

たくさんの人においぬかれたり、ぶつかったり、ちいちゃんはお母さんとはぐれました。「」でいろんなことがあったのでは。お母さんとお兄ちゃんはまにあわなかったかも。

ひとりぼっちになりました。

お母さんたちが亡くなって本当にひとりぼっちという意味もあるかも。

次の日↓家に帰ってこない

朝から一人で夜までまっけてからぼうくう「うでね

次の日↓家に帰ってこない

朝から昼、夜までまっけてからぼうくう「うでね

ちいちゃんはいつまでまっつつもりだったの？

こがお兄  
ちゃんとあ  
たしのへや

「きつと帰ってくるよ。」

ほしいいを少し食べる

ほしいいを少しかじる  
のこそうとしている

四

声が青い空からふってきた。

お父さん、お母さん、お兄ちゃんは亡くなっている？

五

ちいちゃんのかげおくり7

あまんきみこ

め

ちいちゃんを助けよう。

物語の中でちいちゃんを助けるチャンスはなかったのだろうか？

AIにも聞いてみよう

- ・もっと早くひなんできていたら
- ・ひなん場所がはつきりわかっていたら
- ・大人が子どもを守る体せいができていたら
- ・戦争が起きなかったら

助けるチャンスをさがして線を引いていこう

お母さんはお兄ちゃんをおんぶしました。

知らないおじさんが言いました。

「お母ちゃんは、後から来るよ。」

ちいちゃんをだいて走ってくれました。

おじさんは、下ろしてくれました。

おじさんをお  
いかけるとよ  
かった

チャンス

「おうちのとこ。」

お婆さんは、ちいちゃんの手をつないでく  
れました。

「お母ちゃんたち、ここに帰ってくるの。」

深くうなずきました。

お婆さんにつ  
いていけばよ  
かった

「じゃあ、だいじょうぶね。あのね、お婆  
ちゃんは、今からお婆ちゃんのお父さんの家  
に行くからね。」

また深くうなずきました。

チャンス

ちいちゃんはおじさんお婆さんに感謝してるのかな。

四

どうしてチャンスをぜんぶだめにしたのかな。

五

きっと帰ってくるとしんじているから。

ちいちゃんのかげおくり8 あまんきみこ

め

第五場面はなぜあるのか考えよう

第五場面はいりますか？

いる

ちいちゃんのことをずっとおぼえていてほしい

今は平和ということをお願いしたいから

いらない

あると

平和って大切

ちいちゃんはもういないから

かなしいままおわれるから

第一〜四場面と同じ言葉はないかな

ないと

かわいそうな話

ちいちゃんがひとりでかげおくりをした

小さな ちいちゃん

青い空の下

きらきらわらう→やっと会えた

きらきら 子どもたち

きらきらわらう→平和

わらい声

笑い声が聞こえる場所

同じ言葉でもちがう意味

平和の世の中であってほしい

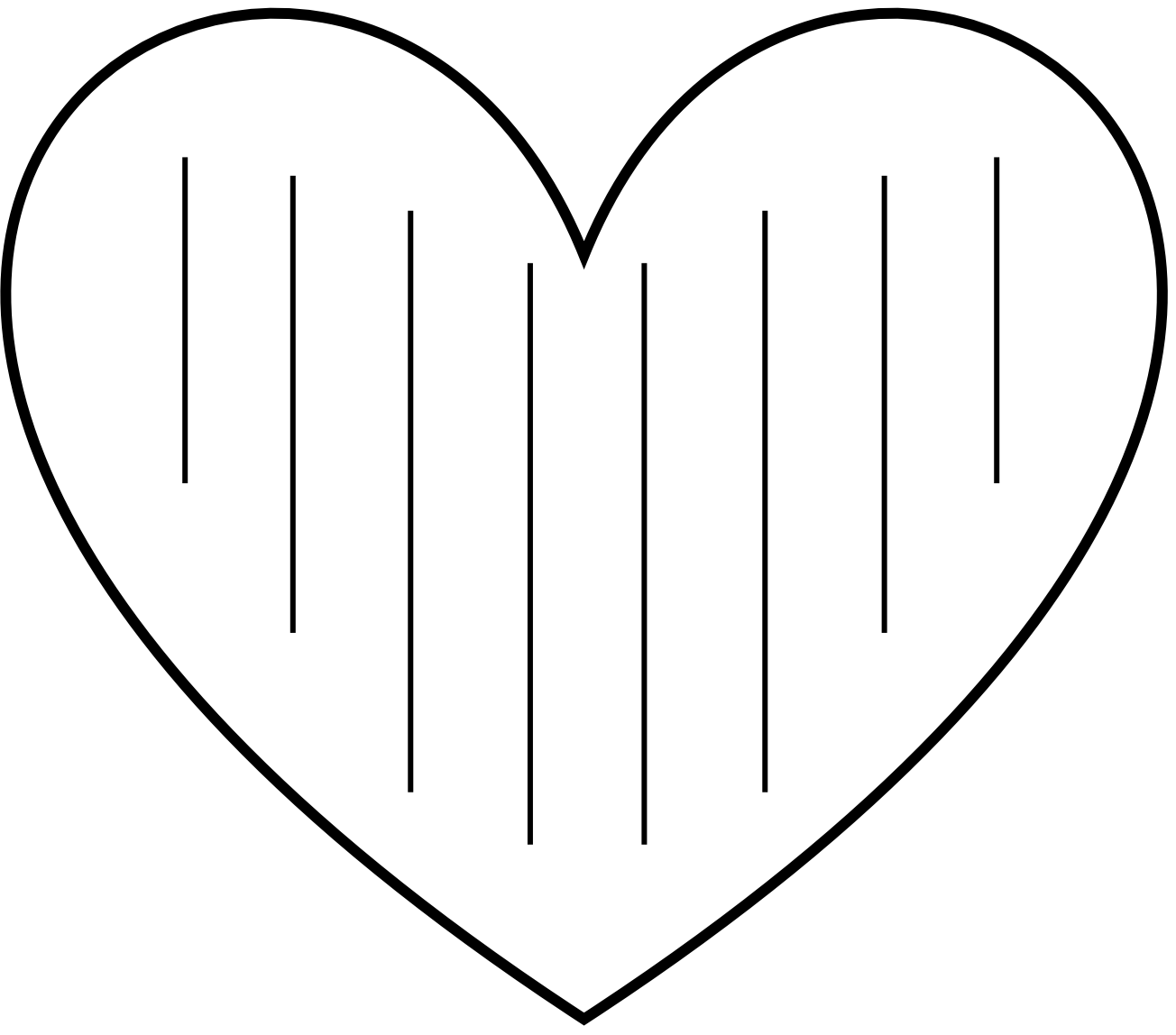
伝えたいこと

ちいちゃんのかげおくり9・10

あまんきみこ

め

ちいちゃんハートカードをつくろう



# 「ごんぎつね」

学習計画表十二時間

付けたい力

人物の気持ちの変化

初発の感想・学習課題

場面の出来事の整理

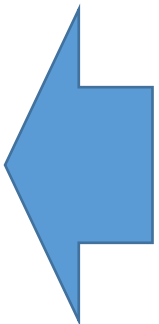
「ごん」と兵十について

- ・「ごん」と兵十の気持ちを読む
- ・一〜五場面の「ごん」
- ・六場面の兵十

情景や場面の様子が目  
にうかぶ表現

化  
「ごん」と兵十の気持ちの変

化  
兵十の「ごん」に対する変



「ごんまきもの」を作る

1 2 ・ 1 1 ・ 1 0 9 8 6 5 ・ 4 3 2 1

# 主題につながる授業構成・発問の工夫について（実践）

## 初発の感想

お母さんが死んだのはごんのせいなのか。	}	ごんの罪
ごんのつぐないはいいことだ。	}	
ごんはやさしいきつねだった。	}	ごんのつぐ
ごんはくりや松たけを持って行ったのに。	}	ない
兵十がごんをうったのはうらみから？	}	ごんの兵
ごんは兵十を友だちだと思っていたのでは？	}	十に対す
うたれたごんがかわいそう。	}	る気持ち

単元を貫く問い



**ごんは幸せだったのだろうか？**




# 主題につながる授業構成・発問の工夫について（実践）



単元を貫く問い


ごんは幸せだったのだろうか




兵十はごんの気持ちに気が付き、気持ちが変わった。




兵十に自分がしていることに気付いてほしかった。




いたずらもせず、ひとりぼっちの兵十をなぐさめようとした。



できるだけ精一杯のつぐないをしていた。



おっかあが死んだのは、自分のせいだと思った



ごんは、ひとりぼっちでさみしかった

め

全文を読み学習の見通しを持とう

題名から・・・きつねの話

○はじめの感想

うたれてかわいそう

お母さんが死んだのはごんのせい？

いきなりうたなくてもいいのに

ごんはつぐないをつづけてえらい

ごんはやさしいきつねだ

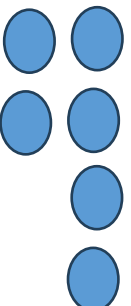
ごんは兵十と友達になりたかったのかな



ごんは幸せだった



幸せではない



ごんは幸せだったのだろうか読み取っていろいろ

○新出漢字と難語句

外れ つつみ もまれる はりきりあみ きす

じれったい ぬすつと 家内 かみをすく のぼり

よそいき てぬぐい かまど そう列 かみしも

いはい ささげる しおれる とこにつく とぐ

いせいのいい つぐない 木魚 しょうじ ねんぶつ

しわざ あわれ めぐむ 引き合う なわをなう

ひなわじゅう 土間

め

場面の内容を読みとろう

とき 昔 おとの様  
場所 中山  
人物 んぎつね

「（した）「ん」でまとめよう

ある秋、兵十がとっていた魚やうなぎをいたずらですててしまう「ん

十日ほどたって、兵十のおっかあが死んだことを知って、いたずらを反省する「ん

うなぎのつぐないに、いわしをなげこむがしっぱいして、くりやまつたけを毎日兵十の家に持っていく「ん

月夜のいいばんに、お念仏に行く兵十と加助についていく「ん

お念仏の帰り道、加助からくりやまつたけを持ってくるのは神様だと聞かされる「ん

明くる日、兵十の家にくりやまつたけを持って行って兵十にうたれる「ん

山場

てんかい

前ばなし

後ばなし

後ばなしがない

め

「ん」と兵十について読みとろう

「ん

ひとりぼっちの小ぎつね↓おとな「わし」  
しだのいっぱいしげった森の中あなをほっ  
てすんでいた

いたずらばかりしていた  
夜でも昼でも辺りの村に出てきて

菜種がらに火を付ける

とんがらしをむしりとっていく

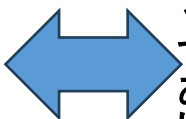
ふつうのいた  
ずらではない

村人  
生活の大切な物  
だいなしに  
←  
はらがたつ

「んは毎日が楽しかったのかな

楽しくない・・・さみしい あなの中 ひとりぼっち

※いたずら・・・おもしろがってあいてが「まる」のようなことをすること



兵十

ぼろぼろの黒い着物 ↓ まずしい  
顔の横っちょようにまるいはぎの葉  
はりきりというあみをゆすぶっていた

母親がなくなってひとりぼっち

おっかあが死んだのは「んが悪いのかな？

うなぎをすてた ↓ すてなかったら？  
うなぎをたべたいと言っていたにちがいない  
↓ 「んの考えで言ったかどうか分からない

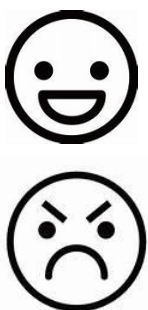
め

ごんの気持ちについて読みとろう

ごんはどんな気持ちだったのだろう

幸せメーター

ある秋、兵十がとって  
いた魚やうなぎをいた  
ずらですててしまうご  
ん



いたずらがしたい

十日ほどたって、兵十  
のおつかあが死んだこ  
とを知って、いたずら  
を反省するごん



自分のせいだ

うなぎのつぐないに、  
いわしをなげこむがし  
っぱいして、くりやま  
つたけを毎日兵十の家  
に持っていくごん



つぐないがしたい

月夜のいいばんに、お  
念仏に行く兵十と加助  
についていくごん



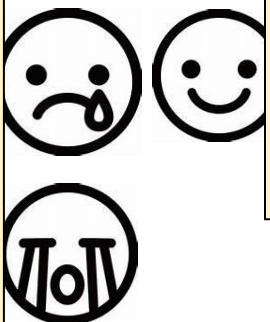
かわいそう

お念仏の帰り道、加助  
からくりやまつたけを  
持ってくるのは神様だ  
と聞かされる  
ごん



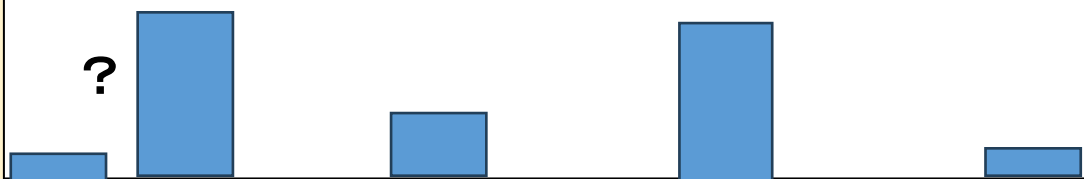
自分なのに

明くる日、兵十の家に  
くりやまつたけを持っ  
て行って兵十にうたれ  
るごん



気付いてもらえてよかった

おわかれでかなしい



め

六場面の兵十について読みとろう

兵十はどこで気持ちが変わったのだろうか？

兵十

「ん

物置でなわをなう

ふと顔を上げる

うら口から「っそ  
り中に入る

にくん  
でいる

こないだうなぎをぬすみや  
がったあの「んぎつねめが、  
またいたずらをしにきたな。

「ようし。」

バタリとたおれる

戸口を出ようとする」「  
んを、ドンとうつ。

兵十かけよる

うちの中を見る

土間にくりが固めておいてある

分か  
って  
ない

「おや。」

びっくりして、「んに目を落  
とす

「「んおまえだったのか。」

分か  
った

火なわじゆうをばたりと、取  
り落とした。

ぐったりと目をつ  
ぶったまま、うな  
ずく

青いけむりが、まだ、つつ口  
まら細く出ていた。

め

情景や場面の書き方について読みとろう

情景が目につかぶような表現はどこでしようか

空はからつと晴れていて、もずの声がキンキンひびいていました。

二、三日あなの中しやがんでいた。

気持ちも表している・・・やった。ほっとした。

○どんなことが分かる？

いいお天気で、遠く向こうには、お城の屋根がわらが光っています。墓地には、ひがん花が、赤いきれのようにさき続けていました。と、村の方から、カーン、カーンと、かねが鳴ってきました。そうしき出る合図です。

やがて、白い着物を着たそうれつの者たちがやって来るのが、ちらちら見え始めました。話し声も近くなりました。そうれつは、墓地へ入ってきました。そうれつは、墓地へ入ってきました。人々が通ったあとには、人々が通ったあとには、ひがん花がふみ折られていました。

月のいいばんでした。ごんはぶらぶら遊びに出かけました。中山様のお城の下を通って、少し行くと、細い道の向こうから、だれかが来るようです。話し声が聞こえてきます。チンチロリン、チンチロリンと、マツムシが鳴いています。

青いけむりが、まだつつ口から細く出ていました。

「んぎつね」

新見南吉

め

「んの思いについて考えよう

「んと兵十とのきよりから考える

「んのつぐないの方法から考える

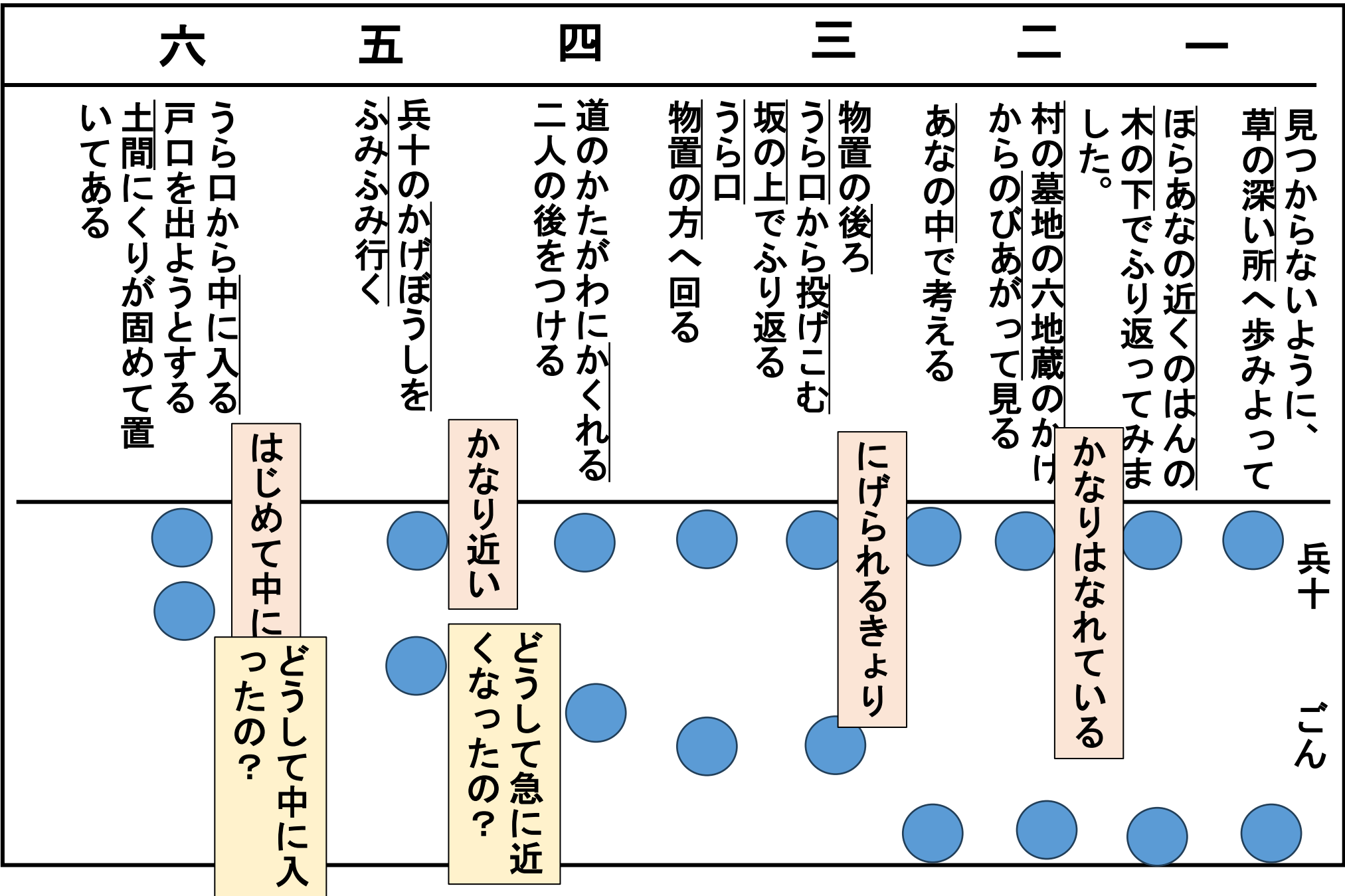
「んのゆめ（のぞんでいたこと）から考える



め

調べたことを交流しよう

「こんと兵十とのきよりから考える」



め

調べたことを交流しよう

ごんのつぐないの方法から考える

一

二

三

四

五

六

どうして一匹じゃないの？

いわしを五、六ぴきつかみ、うちの中へ投げこむ

それくらい悪いと思っていた。  
まず一つ、いいことをした

山でくりをどっさり拾って、兵十のうちへ行く。  
物置の入り口にくりを置く。

次の日も、その次の日もくりを拾っては兵十のうちにもって行く

その次の日には、松たけも二、三本持っていく

どうして土間？  
固めておいたの？

土間にくりが固めて置いてある

ていねいに置きたかったから

め

調べたことを交流しよう

「ごんのゆめ（のぞんでいたこと）」から考える

一

いたずらばかり

さみしい・かまってほしい

二

十日ほどたって、兵十のおっかあが死んだことを知って、いたずらを反省するごん

三

うなぎのつぐないに、いわしをなげこむがしっぱいして、くりやまつたけを毎日兵十の家に持っていくごん

同じひとりぼっちでも元気になってほしい  
自分のいたずらをゆるしてほしい

四

月夜のいいばんに、お念仏に行く兵十と加助についていくごん

つぐないをよろこんでほしい

五

お念仏の帰り道、加助からくりやまつたけを持ってくるのは神様だと聞かされるごん

六

明くる日、兵十の家にくりやまつたけを持って行って兵十にうたれるごん

神様じゃなくて自分だときづいてほしい

め

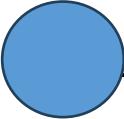


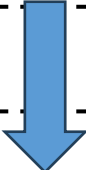
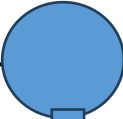
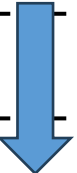









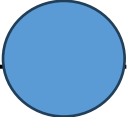
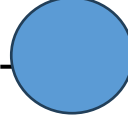
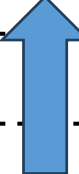
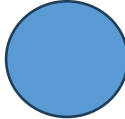
「こんは幸せだったのか考えよう」

一兵十

十

「こん

一

六	五	四	三	二	一	
						5
たのか	<div>まったく気付いていない 神様だと思っている</div>				ぎつねめ	4
おまえだっ					ぬすつと	3
						2
						1
						
						
						1
						2
						3
						4
うなずく	わかって ほい		つぐない	「うつかい	さびしい	5

「んぎつねのつづき

幸せ

さいご気付いてもらえたから  
ばたりと取り落としたから  
ごんに兵十の声が聞こえたから

「ごんは幸せ？」

幸せじ  
やない

さいご死んでしまうから  
兵十もかわいそう

「のあと、どうなるのでしょうか？」

加助が来る・・・「あした見に来いよ。」

兵十が話す・・・「神様はごんだった。」

次々に話が広がる



これは、わたしが小さいとき村の茂平というおじいさん  
から聞いたお話です。

お城があった時代から、ずっと語りつがれる

# たずねびと

付けたい力

学習計画表六時間

物語の全体像・心情の描き方・中心人物が会うものの物語に対する影響

1

初発の感想・学習課題

2

場面の整理とあらすじ

3

広島へ行く前とついでからの綾の気持ちの変化

4

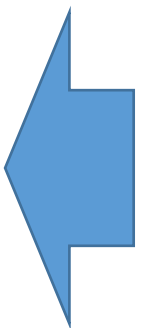
「名前」の変化について

5

綾がたずねた場所や出会った人は何を伝える役割をしていたか

6

意見文をまとめる



たずねびと1

朽木 祥

め

全文を読み学習の見通しを持とう

物語文

作者

場面「時・場・人」

作品の心

(伝えたいこと)

題名から・・・だれをたずねているの？

○物語文

作品の心

変容↓中心人物

はじめ○  
○だった

どう変  
わった

○○によって

○初発の感想

感想

大きな課題

○新出漢字と難語句

良い 感動 浮かぶ 罪 会い 起きる  
読む 今すぐ 可哀想な 発 終わらす  
やめる ひと 一人 来る 人達 笑う 楠木 書く  
朽木祥 人々 原爆 戦争 なくなる 可愛い  
残念な アヤ あやちゃん よい 関係  
しまう 悲しい 昔 亡くなる すごい  
大変な 14万人 お話 たずねる 思う 川 見えない  
せい いのち 原爆ドーム 忘れない くれる  
ほしい おばあちゃん 使う

- ・物語の構成やあらすじ
- ・中心人物の心情の変化
- ・情景の変化
- ・題名の意味

ま

作者の考えを読み取り、これからの社会と生き方について話し合おう

# 原爆供養塔納骨名簿

遺族を捜しています 広島市

広島市は、原爆犠牲者の遺骨を供養するための「原爆供養塔」を建設中です。この塔には、現在までに約1,000体の遺骨が納められています。しかし、まだ多くの遺族が捜されていないとされています。市当局は、遺族の捜索を続けています。



広島市は、原爆犠牲者の遺骨を供養するための「原爆供養塔」を建設中です。この塔には、現在までに約1,000体の遺骨が納められています。しかし、まだ多くの遺族が捜されていないとされています。市当局は、遺族の捜索を続けています。

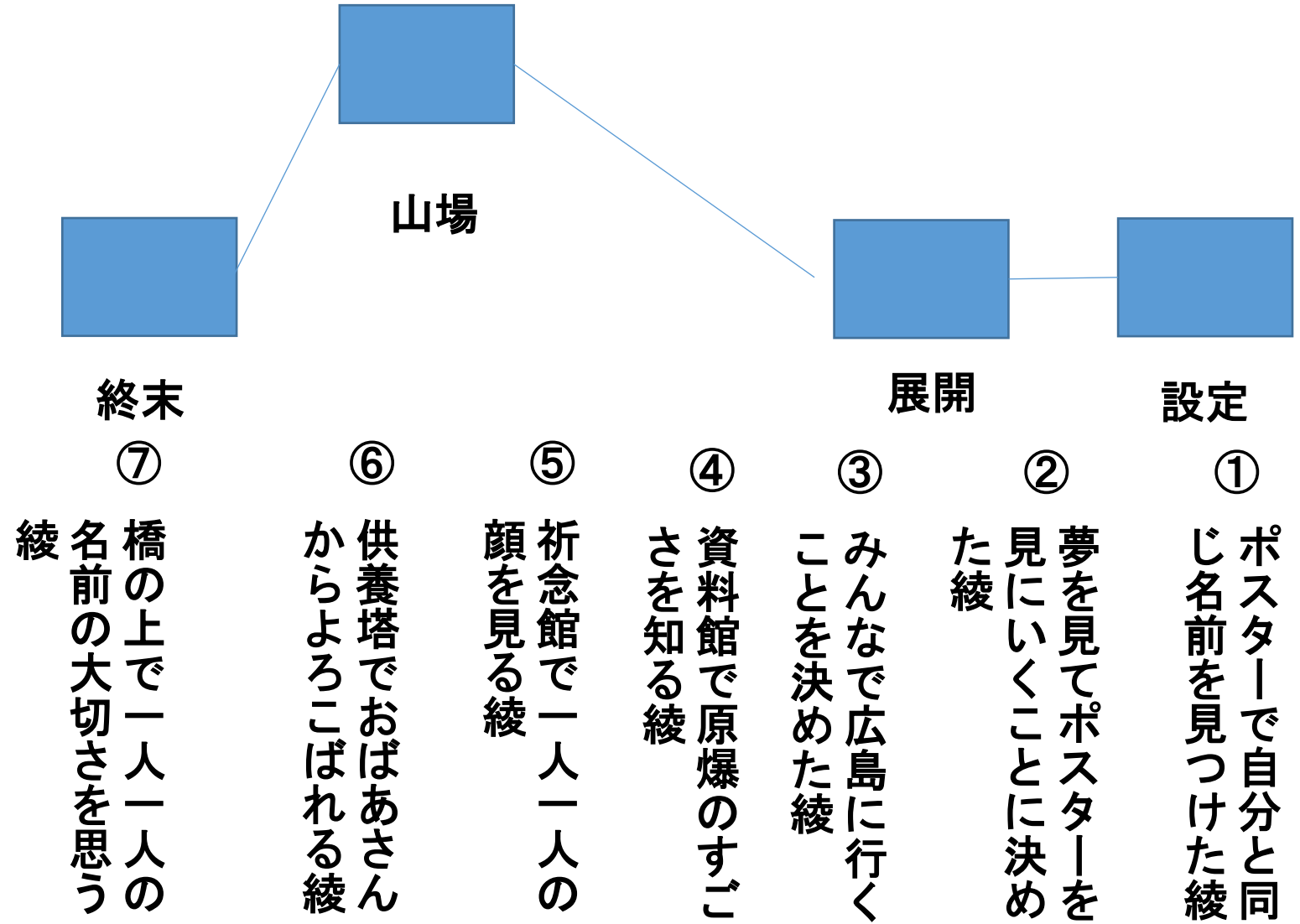
この名簿には、現在までに捜査された遺族の名前が記載されています。しかし、まだ多くの遺族が捜されていないとされています。市当局は、遺族の捜索を続けています。



め

場面の内容を読みとろう

「〜(した)綾」でまとめよう



め

綾の考えが変わったのはどこだろう

挿絵と場所・行動を表す言葉から考えよう

駅の構内のポスター

どうして、だれもこの子のことを覚えていないのかな

夢の中

もう一度ポスターを見に行くことに決めた

原爆ドーム・平和記念資料館

ひどい・知らなかった

秋の空は高く青くすんで、ゆったりと流れる川にも空の色がうつっていた

追悼平和祈念館

ショック・本当にいたんだ

スロープを下りて入っていく追悼平和祈念館はひっそりと静かだった

原爆供養塔

もう一人のアヤちゃんがあなたに会いに来てくれたよ

はずかしい・考えたことがなかった

原爆ドーム近くの橋

わすれてはいけない

この橋をわたったときには、きれいな川でしかなかった。ポスターの名前が、ただの名前でしかなかったように

め

名前は どう変わっていったのだろう

駅の構内のポスター

ただの名前

夢の中

原爆ドーム・平和記念資料館

十四万人の一人

追悼平和祈念館

一人一人の顔

原爆供養塔

夢や希望があった

原爆ドーム近くの橋

確かにこの世にいて、  
泣いたり笑ったりして  
いた

わすれないでいたら

世界中だれも、二度と同じような  
目にあわないですむのかもしれない

アヤだけでなく、うかび上がってきた

祈念館の子どもの顔

夢で見失った名前

たずねびと

朽木 祥

め

場面の内容を読みとろう

秋の空は高く青くすんで、ゆったり流れる川にも空の色がうつっていた。ほね組みがむきだしのドームがその場にあるのが、不思議なくらい、明るく晴れ晴れとした景色だった。

秋の日は短くてしずみかけていた。川土手をゆつくり歩いて橋に向かった。静かに流れる川。夕日を受けて赤く光る水。

め

綾の考えが変わったのはどこだろう

おばあさんとの出会い

わたしたちが忘れないでいること

消えてしまった町

名前でしかない人々

名前でさえない人々

数でしかない人々

数でさえない人々

綾の心にどのようなことが浮かんでいただろう？

静かに流れる川

# 「やまなし」「イーハートヴの夢」

## 学習計画表

付けたい力

作品の世界をとらえ、  
自分の考えを書く

作品世界

作者

題名のつけ方

構成

表現のしかた  
言葉の使い方

考え方

生き方

他の作品の書  
かれ方

1 初発の感想・学習計画

2 「やまなし」の世界を捉える

3 「やまなし」の独特な表現に着目する

4 「やまなし」の五月と十二月を対比する

5 「イーハートヴの夢」 宮沢賢治の生き方や考え方を知る

6 題名に着目して読み賢治の考え方と重ねる



7 作者が作品にこめた思いについて考え、文章にまとめる

8 書いた文章を読み、感想を伝え合う

小川未明・坪田譲治  
浜田広介・壺井栄

やまなし1

## め

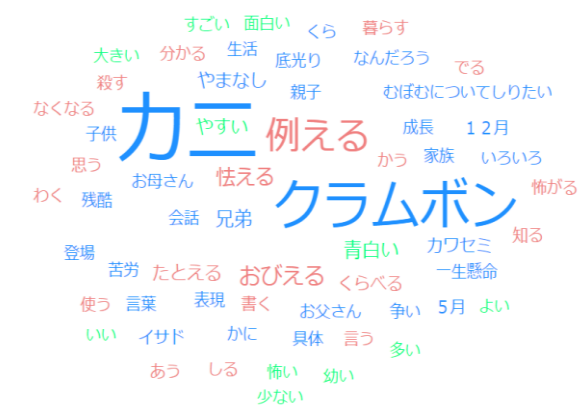
# 全文を読み学習の見通しを持とう

○宮沢賢治

注文の多い料理店

## ○初めて読んだ感想を言おう（スプレッド

シートに記入↓テキストマイニング



- たとえが多い

- ふしぎな言葉がある

(クラムボン)

・カニの兄弟や親子の

様子が面白い

(おびえる)

・五月と十二月でちがう

カワセミ・やまなし

## ○學習課題

「やまなし」は何が伝えたいのだろう

- 付きたい力

作品の世界をとらえ、

## 自分の考えを書く

## ○學習計畫

- やまなしを読む

# ・イーハトーヴの夢を読む

# 組み合わせで考える

## ○新出漢字と難語句

## ま

「やまなし」の作品世界と伝えたいことを  
とらえる

め

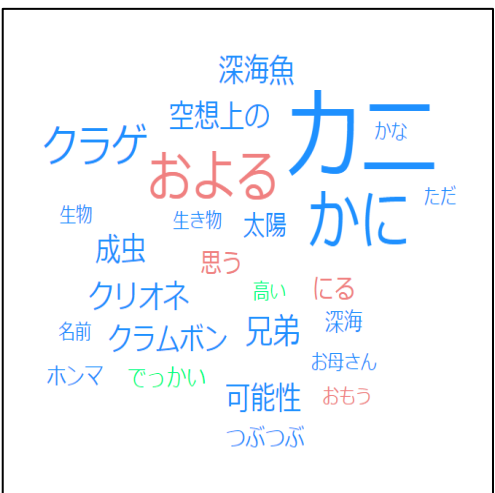
「やまなし」の世界をとらえよう

・ふしぎな言葉がある（クラムボン）

クラムボンって  
何だろう

かに

あわ



時 五月と十二月  
場所 小さな谷川の底  
人物 ニひきのかにの子どもら  
○ 視点 川の底から見ている

・カニの兄弟や親子の様子が面白い

かにの気持ちを顔で表してみよう

五月

かにの子ども  
らが

そのときです。

十二月

かにの子ども  
らが

そのとき、  
ト

「おいしそう  
だね。」

「に」わいよ。」

ま

「やまなし」は二つの話でつくられている



たとえや色さいの表現のくふうで物語の世界がより伝わってくる

[illegible]

White lotus flower (白いかばの花)

Shimmering iron shot (ぎらぎらする鉄砲玉みたいなもの)

Sunlight (日光の黄金)

Bubbles (つぶつぶあわ)

Shimmering silver belly (つうと銀色の腹)

Iron color (鉄色)

Shimmering light (光のあみ)

Swaying (ゆらゆらゆれ)

Like silver (水銀のように)

Glowing (光って)

Dad (お父さん)

Greenish blue water bottom (青白い水の底)

Plop plop plop (ぽつぽつぽつ)

Three red crabs are shown at the bottom of the pond.

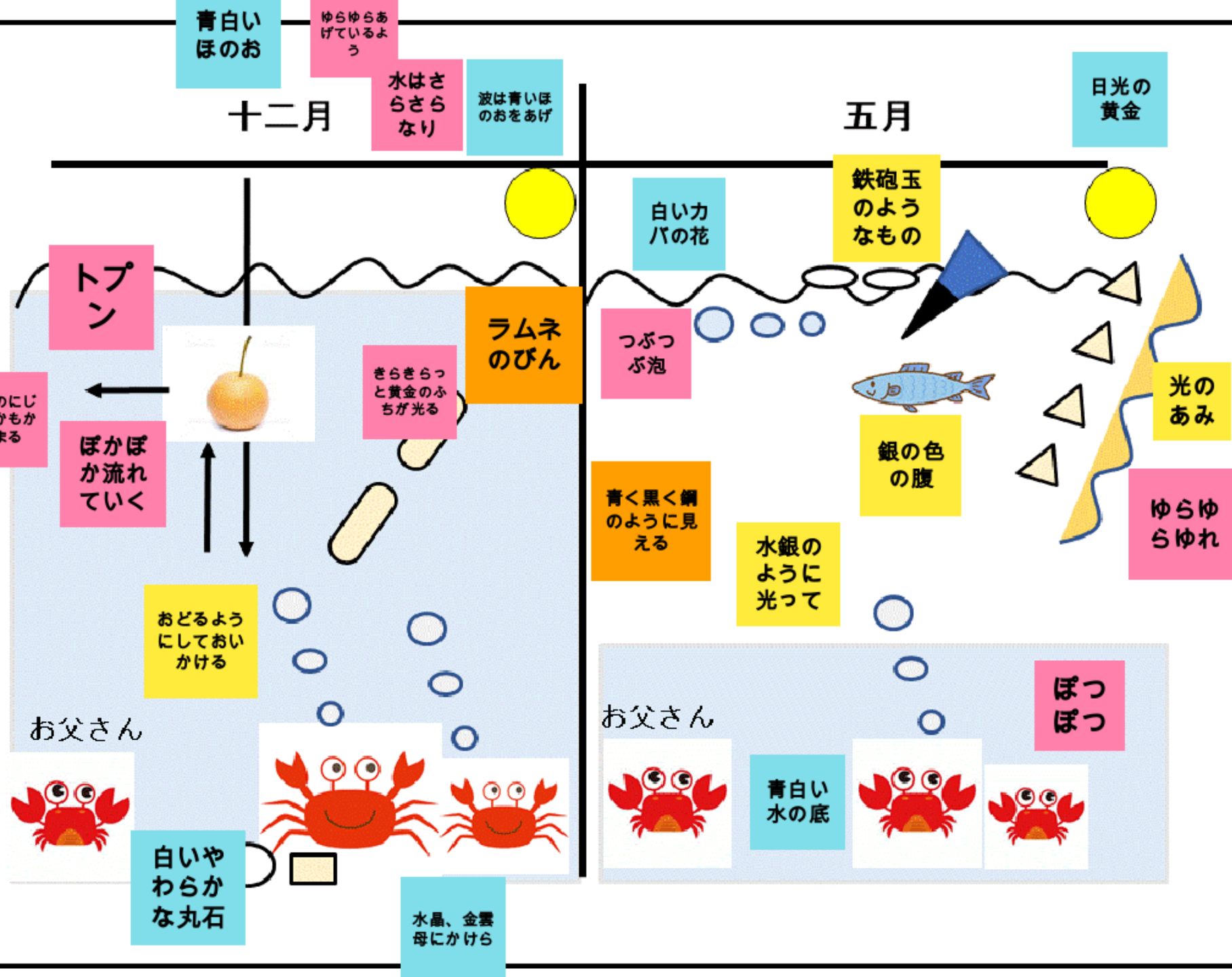
- たとえを使った言葉
- 言葉のひびきで様子を表す表現
- 色さいを使った表現

どれが多いですか  
なぜたくさん使ったのでしょうか

「やまなし」の表現とその効果をとらえよう

やまなし3

- ・たとえを使った言葉
- ・言葉のひびきで様子を表す表現
- ・色さいを使った表現



# 面白くするため

色々想像できるようにするため

より、わかりやすくなる。

なぜたくさん使ったのでしょうか

め

五月と十二月を比べて、分かることを考えよう

五月

かわせみ



十二月

やまなし

何と同じ？

とびこんでくる死



何がちがう？

幸せを与える命  
平和・楽しい

「おいしそうだね、お父さん。」

命をうばう

厳しい・こわい

「こわいよ、お父さん。」



作者はどっちが好きだと思いますか

かわせみ

厳しさを伝えたい

やまなし

明るい平和な世界が好き

なぜ「やまなし」という題名なのでしょう

みんなを幸せにするような世界を伝えたい  
命を大切さを伝えたい

ま

五月と十二月を比べると作者の伝えたいことが分かる

め

「イーハトーヴ」の夢を読んで、賢治の思いや夢、生き方を考えよう

自然災害

農という

字

ひまわり

たくさんの  
詩や童話

イーハ  
トーヴの  
パノラマ  
地図

銀河鉄  
道の夜

羅須地人  
会

病氣

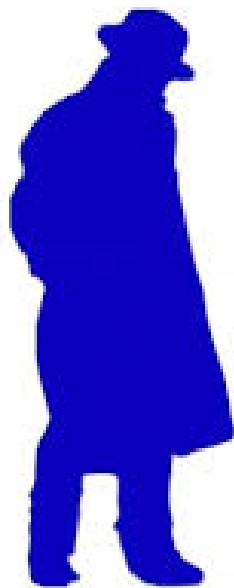
ま

( 心優しい )  
賢治さん

( 努力家の )  
賢治さん

(みんなのため  
にがんばってい  
る) 賢治さん

(自分より他の  
人を第一に思っ  
ている) 賢治さん



思い

互いに優しい心をもってほしい

思い

厳しい現実から抜け出させたい

夢

岩手を素敵な場所に

生き方

自分を犠牲にしても助ける

## やまなし6

め

賢治がやまなしで伝えたかったことを考えよう

賢治が「やまなし」の作品に出ているなら何になっていると思いますか。

条件

・賢治の思い・夢・生き方を入れ、「ふしたいから」で考える

やまなし

多くの人を幸せにしたい

×かわせみ

命の厳しさを伝えたい

親がに

はげましてあげたい

×太陽・月

みんなを見守りたい

×魚

食べられたい

×あわ

かがやきたい

賢治の思い

みんなをはげましたい

みんなを幸せにしたい

理想の世界

こわい世界も伝えたい

五月をいれることで、十二月が強調される

五月の「かわせみ」の話は、「イーハトーヴの夢」のどの部分にあたるのでしょうか

地震・大雨・洪水・伝染病

農作物の被害

苦しい農作業 冷夏

理想と現実の農業はちがう

厳しい現実

賢治は「やまなし」で何が伝えたいと思いますか

- ・ 厳しい現実と理想の世界を伝えたい
- ・ 自分が見守り助けていきたい

ま

賢治は「やまなし」で厳しい現実と理想の世界を描き、励ましていく自分を描きたかった。

やまなし7

め

「やまなし」作品紹介カードを作ろう

表現 対比 題名 生き方や夢、考え方

## 「やまなし」作品紹介カード

「やまなし」の表現のくふうなどの紹介

作品にこめた思いや夢



やまなし 8

め

友だちの文章を読み、感想を伝えよう

○自分の考えと似ているところ

○自分の考えとちがうけれども納得したところ